

# 長 蓮 寺 報

NO.17 (平成24. 12. 15)

## 特急のありがたさ

師走も半ばを迎え、12月としてはビックリするような異例の積雪に除雪作業等で、慌ただしい日々を過ごしております。皆様もさぞかし驚かれた事ではないでしょうか？

先月11月中旬に一年半ぶりに立山室堂に行きまして、山の上は3m近い積雪がありました。冬が早いのは山の上だけか？と思っておりましたが、ここ数日の雪の降り方をみると、冬将軍の到来は早めようです。くれぐれもお体を大切にお過ごし下さい。

今回のお話は、その室堂に行った時のお話です。

例年、室堂の施設の依頼で1シーズンに何度か、訪れる室堂ですが、今年はタイミングが悪く一度も上山しておりませんでした。たまたま、先月時間がとれ、幸い天候も安定しているようでしたので、山小屋へ1泊の予定で車を立山駅に止め、高原バスで室堂まで参りました。天候は快晴！久しぶりに大自然の中、洋風カンジキ(スノーシュー)を履き徒歩1時間ほどの室堂山へ登りました。山の稜線は風が強く-10度以下の極寒でしたが白山に沈む夕日、雲上の黄昏時を十分に堪能することが出来ました。

と、ココまでは良かったのですが、夜半過ぎより風が強くなり翌朝には地吹雪で視界も悪く、山小屋からやっとの思いで室堂ターミナルへ行くと・・・「高原バス終日運休」のアナウンスが・・・高原バス通りを徒歩で立山駅まで降りようか？とも考えましたが室堂付近は強風で息も出来ない状態です。バス通りと言えども遭難の危険がありますので、迂回して大町経由(長野)から富山へ帰ることにしました。

何度も訪れているアルペンルートですが、黒4ダムの先はまだ行っていませんでしたので、これも良い経験！と思いつつ、扇沢に下り大町駅へ。大町からはJR大糸線で糸魚川まで、各駅停車に乗るとのこと。各駅停車の電車はほぼ30年ぶり！懐かしさあり、昔とはだいぶ変わったワンマン電車に興味津々ワクワクしながら乗車したのもつかの間、三つ目の駅あたりで、上り電車と交換で10分待ち等のアナウンスを聞くと、何時になったら着くのだろう？やっとなら1時間が過ぎ、南小地谷で乗り換え、またさらに各駅停車で1時間！

終点の糸魚川のアナウンスを聞いたときは、やっとなら着いた！との安堵感がこみ上げてきました。その後、糸魚川から特急に乗りこみますと、なんて快適なんだろう！日頃、東京や京都に行くにも、この「特急」に乗りますが、「新幹線なら早いのに！乗り継ぎ不便だなあ」と不満を漏らすときもありましたが、今回の長旅で考えが一掃されました。

お釈迦様は「人生は苦しみである」とおっしゃっておられます。「何故にネガティブな考え」なのか？とおっしゃる方もおられますが、

各駅停車を基準に考えれば、特急は快適です。一方、新幹線を基準に考えれば、何に乗っても不平・不満が出て来ます。徒歩を基準にすれば、各駅停車だって素晴らしく感じるでしょう！人生を「苦しみ」と踏まえることで、「人生をシアワセに過ごすヒント」をお示しになられておられるのですね。今回はホントに良い経験をさせていただきました。

皆様にとって来る平成25年が幸多き年になりますように。

合 掌

### 平成25年 年忌表

1周忌 平成24年	17回忌 平成9年	37回忌 昭和52年
3回忌 平成23年	23回忌 平成3年	43回忌 昭和46年
7回忌 平成19年	27回忌 昭和62年	47回忌 昭和42年
13回忌 平成13年	33回忌 昭和56年	50回忌 昭和39年

# 長蓮寺の基礎知識Q & A

## Q：「お経」について教えてください ③

前回・前々回2回にわたり、「お経」全般の歴史的背景、意義についてお話いたしました。

今回より数回にわたり、私たちが唱えている「おつとめ要典（お経本）」について一つずつ詳しく見てゆきましょう



**お経!**



お経をお唱えするときは、ご仏壇は綺麗にて、お花を飾り、ローソクお線香を着け 仏飯や水・お茶などをお供えし。心静かに手を合わせてからお唱えしましょう！

## ○勸請文

合掌、礼拝し、1 ページ目を開きます。最初にお唱えするのが「勸請文」です。勸請とは、ご本尊（仏様）、ご守護してくださる神さま、ご先祖さまに向かって、これからお経を捧げますからどうぞお受け下さい。という意味です。

**お経!**



お釈迦様始めたくさんの仏様のお名前をお読みします。舌をからまないようにはっきりお読みしましょう！

## ○開経偈

次は「むじょうじんじんみみょうのほうは～」ではじまる偈（文句）です。開経。つまりお経を開いて、お経を読む前に唱える文句です

「無上甚深微妙の法は、百千万劫にも遭い奉ること難し。  
我今見聞し、受持することを得たり、願わくは如来の第一義を解せん」

（訳）

お釈迦様の説かれた（尊く・奥深く・言い表すことも出来ない）最上の教えにお会いする事は、きわめて長い月日が経っても巡り会うことが出来ないものですが、けれど今、私はその貴重な最上の教えに巡り会うことが出来ました。この上は、しっかりと受け止めて、お釈迦様のご真意をつかみます。

「至極の大乗、思議すべからず。見聞触知、皆菩提に近づく、  
能詮は報身、所詮は法身、色相の文字は、即ち是れ応身なり。」

(訳)

(この最上の尊い教えについて、)

あれこれ考えたり、議論したりしません。

この経を見たり聞いたり触れたりするだけで、  
皆が仏様の境地に近づくことができることを

知っているからです。

仏は報・法・応の三身であるからです



「無量の功德、皆この経に集まれり、是故に自在に冥に薰じ密に益す  
有智無智罪を滅し善を生ず

(訳)

仏の功德は自在ですから、表だって見えないとしても、見えないところで密かに  
功德を与えているのです。賢い者も愚かな者も、この経に会う事によって様々な罪  
障はなくなり、善き事が生まれるのです。

「若しは信、若しは謗、共に仏道を成ず。三世の諸仏、甚深の妙典なり。  
生々世々、値遇し頂戴せん

(訳)

信じる人、謗る人であっても、仏様の偉大なる慈悲によって、仏に成るような道  
に入る事ができるのです。三世の諸仏と言われる方々も、この経に依って悟りを得  
たのです。この経は、計り知れない功德があります。ですから、何世に渡っても、  
またこの経に値い奉り受持する事を願い祈るのであります。

以上のように、

この「開経偈」は、人として生を受け、また縁あって、仏様の教えに巡り会えた！  
と言う、喜びと感謝の意味があります。

巻頭の「特急の話」同様、母が病気になって始めて母のありがたさを知ったり、  
私たちは毎日同じように暮らしていると、平生はありがたさが薄れてしまう傾向に  
あります。この「開経偈」は法華経を読む心構えの再確認でもあるのです。

※この「開経偈」は、様々な宗派で読まれております。



信 祈 外! 喜びと感謝を再確認するためにも、おつとめの前にはこの開経偈を  
読みましょう!

これから、法華経の本編を読誦するに前に、身を整え心をしずめて、  
一心に唱えようとする気持ちを昂めるようにしましょう。



◎初詣は長蓮寺へ（新年祈願会 開催！）  
平成25年1月1日午前10時～



明年の正月元日、新年にあたり祈願会を開催します  
家紋繁栄・商売繁盛・無病息災・ぼけ封じ 等々 お一人ずつお祓い致します。  
この機会に是非 長蓮寺へお参り下さい。

節分会（豆まき） 平成25年2月3日（日）午前11時～

尚、従来通り 節分会（豆まき）も2月3日に致します。

交通安全・家内安全・厄年・合格祈願 等々

お札・御祈願を希望される方は、別紙の申込用紙にご記入の上

お申し込み下さい。

◎長蓮寺カレンダー



昨年よりカレンダーを変更させていただきました。

評判も上々でうれしい限りです。各家、一部ずつお渡しして  
おりますが、檀信徒以外の方々からも、ひとつ譲ってもらえな  
いか？とのお声も多く。今回は30部ほど余計に注文しました。  
息子にも送ってあげたい等々で、  
ご希望の方は、早めにお寺までお申し出下さい。

◎猷久会 好調！

昨年度から開催しております「猷久会」ですが、次第に会員も  
増えております。興味のあるかたは、「第1日曜」14:00～の月例会  
に、どうぞ気軽にお越し下さい。参加費無料です。



◎長蓮寺「ふれあい活動」「公開講座」



ふれあい活動「ハイキング」

ふれあい活動も次第に定着し「山菜採り教室」「ハイキング」  
「海釣り」「忘年会」等々開催し、多くの方々に参加いただき  
ました。来年度も檀信徒の交流の場を企画予定です。

また、本年より「公開講座」として  
「葬儀の話」など檀信徒を問わず多  
くの方に聴聞いただきました。

来年度は講師を招いて、多種多様な講座を設けたいと  
思います。もし、「こんなお話を聞きたい！」などご希望が  
ありましたら、気軽にお寺まで



公開講座「お葬式のはなし」